

2025 年 9 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社さくらさくプラス
 代表者名 代表取締役社長 西尾 義隆
 (コード：7097、東証グロース)
 問合せ先 取締役副社長 中山 隆志
 (TEL. 03-5860-9539)

通期業績予想と実績値との差異及び 特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年 7 月期の通期連結業績予想（2024 年 9 月 12 日公表）と本日公表の実績値に差異が発生し、また、2025 年 7 月期において特別損失（減損損失）を計上いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

記

（百万円未満切捨て）

1. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2025 年 7 月期通期連結業績予想と実績値との差異（2024 年 8 月 1 日～2025 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 18,037	百万円 902	百万円 874	百万円 694	円銭 161.06
実績値 (B)	18,388	1,139	1,032	611	140.29
増減額 (B-A)	351	236	158	△82	—
増減率 (%)	2.0	26.2	18.1	△11.9	—
(ご参考) 前期実績 (2024 年 7 月期)	17,212	775	871	607	137.64

(2) 差異の理由

公定価格の増額を背景とした保育補助金の増額及び既存保育所の在園児数の増加による保育サービスの増収等があったことに加え、予定通り不動産（販売用不動産）を売却、その他サービスの収益が概ね見込み通り積み上がったことが寄与し増収しました。営業利益は、外注業務の内製化推進による採用経費の削減及び ICT 化による業務効率化をはじめとした各種のコスト削減施策が影響したことにより、業績予想を上回りました。また、営業利益が大きく増益した影響により、経常利益においても業績予想を上回りました。一方で、今後の事業環境を踏まえ、将来の回収可能性を検討した結果、一部の保育所並びにベーカリーカフェ等について減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想未達となりました。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

・有形固定資産の減損処理による特別損失

当社グループが保有する固定資産について、今後の事業環境を踏まえ、将来の回収可能性を検討した結果、一部の保育所並びにベーカリーカフェ等について減損処理を実施し、321 百万円を特別損失（減損損失）として計上いたしました。

以上